

上毛新聞 (18面)

掲載日：2020年7月10日 (金)

新型コロナウイルスの正しい知識を

パース大福祉専門学校



渋川

新型コロナウイルスについて理解を深める講座が9日、渋川市の群馬パース大福祉専門学校(神野明男校長)で開かれた。生徒のほか教員や市職員など約160人が感染症対策の基礎を学んだ。

同大大学院で新型コロナウイルスのPCR検査や治療薬の研究に取り組む木村博一教授が講師を担当し、感染症拡大の経緯や感染経路を解説。適切なマスクの着用や手指消毒の方法を紹介しながら「コロナを『正しく怖がる』には、正しい知識が必要。知識

を駆使すれば広がりをも最小限にできる」と強調した＝写真。

「3密」を避けるため、生徒は複数の教室に分かれ、オンラインを通じた遠隔で受講。介護福祉学科1年の宮沢巖さん(44)は「生活の中でコロナに慣れてしまった部分もあるので、改めて脅威を認識した」と話していた。

同大では19日にも木村教授らによる公開講座を開く。問い合わせは同大(☎027・365・3366)へ。